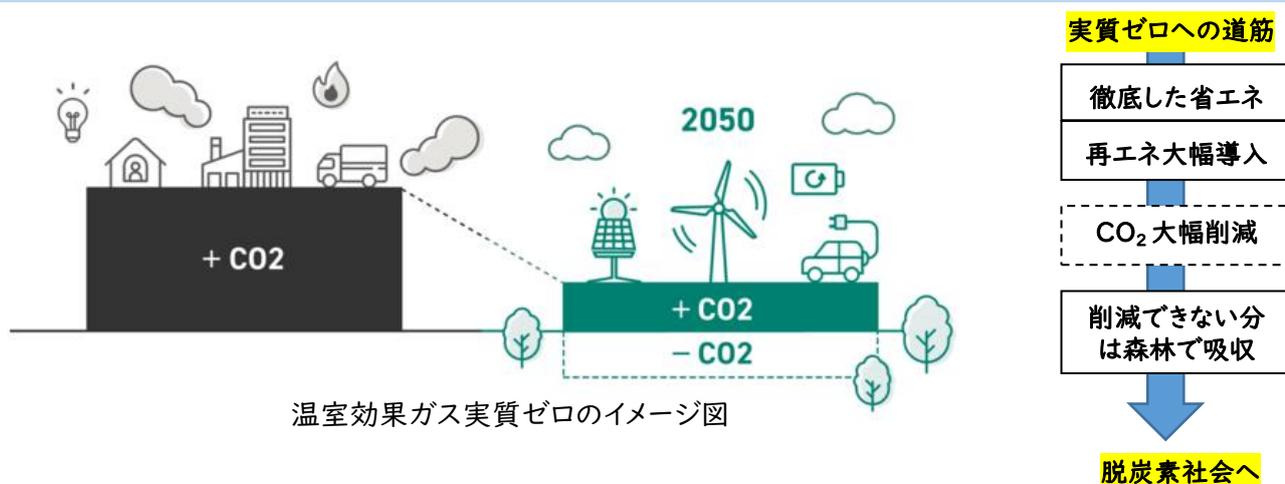


カーボンニュートラルトピックス No.5 CARBON NEUTRAL TOPICS

令和8年2月発行 編集:茅ヶ崎市環境部環境政策課 0467-81-7176

私たちが目指すべき将来の茅ヶ崎市では、資源やエネルギーを無駄使いせず有効利用するよう心がけ、環境負荷を低減した循環型・低炭素型の生活や事業活動を実践するとともに、気候変動に適応した取り組みが進み、気候変動による影響を回避・軽減できるまちになっています。この将来像を目指すため、今、私たちが直面している環境課題、主に地球温暖化について、『カーボンニュートラルトピックス』として紹介していきます。

茅ヶ崎市は、「ゼロカーボンシティ宣言」をし、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指しています。カーボンニュートラルの実現に向けて、「脱炭素のまち」について考えてみませんか。



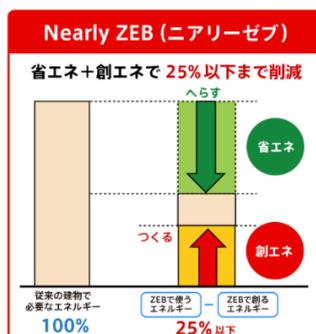
温室効果ガス実質ゼロのイメージ図

※2050年にCO₂を実質ゼロにすることを旨を首長自らが又は地方自治体として公表した地方自治体を「ゼロカーボンシティ」といいます。
2025年9月30日時点で **1,188自治体が表明**しています。

Nearly ZEB 認証の 道の駅「湘南ちがさき」

令和7年7月7日に、Nearly ZEB 認証の道の駅「湘南ちがさき」がオープンしました。本施設は、太陽光パネルなどの再生可能エネルギーを活用した環境配慮型施設で、茅ヶ崎市で公共施設として初めて*1「Nearly ZEB (ニアリー・ゼブ)」認証を取得しています。

金属と大きなガラスを組み合わせた印象的な外観は、高いデザイン性と環境性能を両立。年間の一次エネルギー消費量を限りなくゼロに近づけることを目指した建築物で、一次エネルギー消費量を75%以上削減する基準を満たしています。さらに、宮城県南三陸町の*2FSC 認証スギ材を使用し、持続可能な林業にも貢献しています。



出展：環境省



*1 Nearly ZEB(ニアリーゼブ)は、基準値に対する一次エネルギー消費量削減率が75%以上を実現している建物。省エネ対策を実施するだけでなく、太陽光発電の導入などでエネルギーを生み出していて、ほかの種類と比べてZEBに近い建築物のこと。

*2 FSC 認証は、環境に配慮した方法で森林を管理していることを示す国際的な認証のこと。

← 道の駅HPはこちら



ZEB 認証の 東邦チタニウム

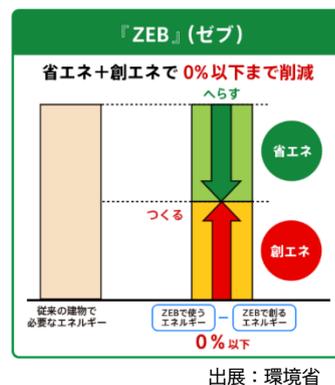
東邦チタニウム株式会社は、市内にある茅ヶ崎工場で、茅ヶ崎市において初となる*「ZEB (Net Zero Energy Building)」認証を取得した総合事務棟を建設しました。『ZEB』は、4段階ある ZEB の定義の中でも最上位であり、省エネルギーと創エネルギーの両方で、建物のエネルギー消費量を正味ゼロ以下まで削減する建物にのみ認証されます。

ZEB 認証を取得した総合事務棟では、年間約 140t の CO₂削減を実現しています。Low-E 複合ガラスや高性能断熱材を採用し、2 階外窓には遮光・遮熱および視線制御を目的としたチタンパンチングパネルを設置することで、日射遮蔽率 30%を達成し、省エネルギー性能を高めています。

また、中央吹抜からの採光と屋上の開閉式窓による自然換気を取り入れ、外窓周辺には再生木を使用した日射遮蔽ルーバーやグリーンカーテンを設置しています。240 m²の壁面緑化により、10 年間で約 720kg の CO₂吸収を実現します。さらに、電力回生機能付きエレベーターや屋上太陽光発電システムを導入し、環境負荷の低減と業務効率の向上を図り、持続可能な社会の発展に貢献しています。

茅ヶ崎市は、令和 3 年 4 月 1 日に寒川町と共同で「気候非常事態宣言」を表明し、2050 年カーボンニュートラルの達成を目指しています。このたび、市内初となる ZEB 認証建築物の実現に貢献された東邦チタニウム株式会社の功績を称え、市長より感謝状を贈呈いたしました。

ZEB 認証に係る感謝状贈呈式



*「ZEB」:ZEB 認証の 4 分類(ZEB、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented)の中の最上位。

①②のすべてに適合した建築物

- ①基準一次エネルギー消費量から再生可能エネルギーを除いて 50%以上の削減
- ②基準一次エネルギー消費量から再生可能エネルギーを含めて 100%以上の削減

市内の公共施設にEV(電気自動車)用普通充電設備を導入



市では、「気候変動非常事態宣言」を行い、二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指した取組を推進し、気候変動に適応できる持続可能なまちづくりを進めています。

その脱炭素の取組の一環として、市民や来訪者が環境に配慮した移動手段を選択しやすくなるよう、公共施設 3 施設に EV 充電器を設置しました。

これにより、電気自動車の利用促進を図るとともに、日常生活の中で脱炭素を身近に感じられる環境づくりを進めていきます。

| 施設名 | 設置場所 | EV 充電対応車室 |
|---------|----------------|-----------|
| 茅ヶ崎公園 | 茅ヶ崎市中海岸 3-3-11 | 4 車室 |
| 茅ヶ崎市博物館 | 茅ヶ崎市堤 3786-1 | 4 車室 |
| 茅ヶ崎市立病院 | 茅ヶ崎市本村 5-15-1 | 2 車室 |



← EV用充電設備
詳細はこちら

炎天下かけこみスポットアンケート結果

昨年から実施している「炎天下駆け込みスポット」について、今年も 92 施設にご協力いただき、6 月 1 日から 10 月 22 日までの期間、開放することができました。

協力施設へのアンケート結果から、利用者からは

「とりあえずかけこめる施設があつて助かりました。」

「気分が悪くなる前にコミセンで涼むことによって大事にいたらなかった。」

「軽い熱中症疑いのある高齢者を帰宅前に休憩させることができた。」

などの嬉しい声があつたことが分かりました。

また、施設側からも

「利用者から「こういった取り組みがあるのは良いよね」とのお声をいただいた。」

「炎天下かけこみスポット利用者から感謝の言葉をいただくことができました。」

「猛暑だったので、利用された方には喜ばれました。」

「高齢者に対しては、優しい取り組みだと感じました。」

といった声が寄せられています。

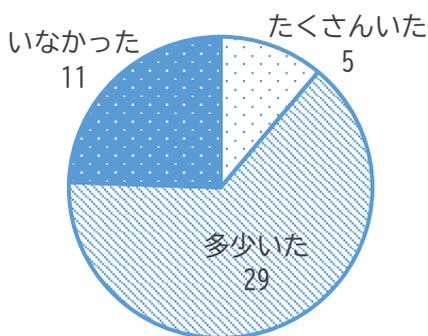
ご協力いただいた施設の皆さまに、心より感謝申し上げます。



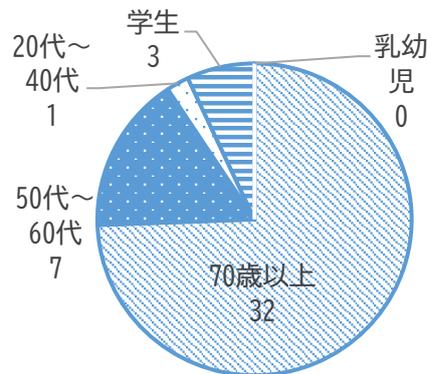
炎天下かけこみ
スポット
詳細はこちら

【アンケートの一部をご紹介】 回答施設:45 施設

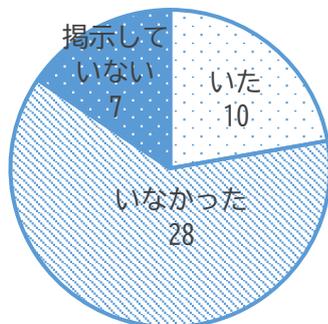
■炎天下かけこみスポットの利用者はいらっしゃいましたか？



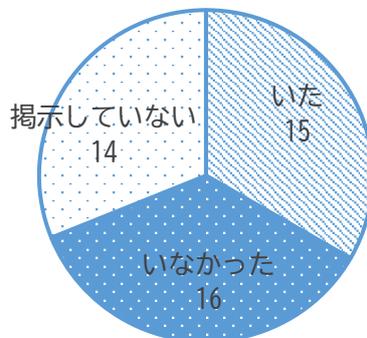
■利用者はどの年代が多かったですか？



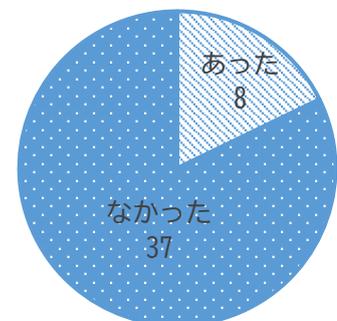
■ポスターをきっかけに炎天下かけこみスポットをご利用された方はいましたか？



■のぼり旗をきっかけに炎天下かけこみスポットをご利用された方はいましたか？



■炎天下かけこみスポット利用者や施設利用者に、スポットについて聞かれたことはありますか？



企業においても、個人においても、省エネやエコ活動は重要な取組です。

将来の世代も安心して暮らせる持続可能な社会をつくるために、

2050 年までの「CO₂の排出量を実質ゼロ」を目指し、一人一人ができる事から始めましょう。

